

阿波まちなかど

<http://toku-sikai.sakura.ne.jp/arc/>

建築士10月号附録 昭和28年2月23日第3種郵便物認可 毎月1回発行 発行/社団法人 徳島県建築士会 TEL088-653-7570 FAX088-624-1710

●とびくす●

阿波踊りと徳島

九州大学大学院 人間環境学研究院 都市・建築学部門特任准教授 藍谷鋼一郎

2拍子の軽快なリズムにのり、まちを練り歩く阿波踊り。今年も徳島の街は、鮮やかな衣装をまとった踊り子達に彩られ『祝祭都市』の様相を呈していた。400年という日本有数の歴史ある盆踊りは、踊り子達によって脈々と継承されている。踊り子達が構成するグループは「連」と呼ばれ、同好者の集まり、団体、大学、企業などを単位に結成され、鳴物（三味線・鉦・太鼓・横笛など）を含む連の規模は30人前後のものから500人に及ぶ大所帯もある。技量練達した達人たちの連は「有名連」と呼ばれ、プロさながらの統率された技と舞を披露し大名行列さながらの豪華絢爛さがある。

ここ数年は、毎年のように徳島市の阿波踊りを訪れているが、今回は、徳島県建築士会徳島支部・中納公樹連長率いる「まちなみ連」に同行し、まちを練り歩いた。「阿波よしこの」には『踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃ損々』という有名な一節があるが、楽しみ方だけでなく、踊り手側から見る街の見え方は、当然、見る側からとも違って来る。徳島県建設センターの壮行式では、18:30 両国橋、20:00 元町、21:00 市役所前演舞場という3か所の集合場所と時間のみが告げられる。両国橋で一踊りした後は、東新町アーケードを流しながら、しばし休憩し、NPO法人・子育て支援ネットワークとくしまのステップ前で踊りを披露。アーケードでは、隣で踊っていた『神戸ちるど連』と即興で協演する一面も。期間中、演舞場へ繰り出した踊り連の延総数は950連にもおよぶそうだ。それらの連が「わずかな情報」を頼りに街を巡回し、阿吽の呼吸で踊りを披露し、道すがら広場や路地で一休みする。



阿波おどり実行委員会発表によると、今年の徳島市阿波おどりには8月12日(金)から15日(月)までの4日間に、131万人（前年より4万人減）の人出があったそうだ。県外客は64万人というから、80万人を下回る徳島県人口や26万人の徳島市人口と比べても驚異的な数字である。単純計算すると車両進入が禁止される直径1km圏内、42ha（ヘクタール）の時間規制区域内に、一日平均33万人の人出があったことになる。規制のかかる18時から23時の5時間で平均すると、160,000人/km²・h、畳半分（1m²）の面積に実に6人以上が詰めかけた計算になる。殆どの人が屋外空間にいることを想定すると、その密集度は計り知れない。ちなみに、平成23年8月の東京23区の人口密度は、14,422人/km²（面積621.98km²、人口897万人）。

人々の交流は文化を形成・継承し、都市を豊かなものにしていく。今では高円寺（東京）などを中心に徳島県以外の地域でも阿波踊り文化が受け継がれている。「まちなみ連」にも岡山建築士会からのリピーターが毎年訪れているそうだ。未曾有の被害を被った東北地方からは、仙台市の阿波おどり連「やっとな連仙台衆」が5年ぶりに参加し、復興への思い・被災仲間を勇気付けたいとの思いで踊り続けていた。非日常的な舞台装置と化した徳島市中心部には、大勢の踊り子達が日常的には静まり返る空間や場所に明かりを灯していた。町興しの息吹がそこここに芽生えるかのように。



徳島の景観ホームページ「とくしまっぷ」 & 景観フォトコンテスト

とくしまっぷ実行委員会 中野 真弘

この活動は、2006年6月に、徳島県の景観指針を作成のための委託業務を受け、県下9エリアで景観ワークショップを開催し、地域の景観課題を整理したことに始まります。

その際、地域の身近な景観資源の発掘と地元の方々に景観への関心を持っていただくことを目的に、「あるでないでええ景観！フォトコンテスト」を開催し作品を公募しました。また、それら全作品を、パネル化して「あるでないでええ景観！写真展」を開催して、県民のみなさんに徳島のええ景観を見ていただきました。

その後、委託業務も終わりましたが、せっかくの景観ポイントとその写真をいつでも手軽にみられるようにと、2007年12月に徳島の景観ホームページ「とくしまっぷ」をネット上に公開し、合わせて「あるでないでええ景観！フォトコンテスト」を開催、今までの写真の郵送受付はもちろん、あらたに携帯やパソコンメールの応募フォームから気軽に作品応募ができるフォトコンテストとして再出発しました。活動団体名も徳島アーバンデザイン研究会有志による「とくしまっぷ実行委員会」と2009年4月に改めました。

作品の応募期間は、毎年8月16日～翌年の8月15日までとし、第4回フォトコンテストに応募された作品は、数日の内に、とくしまっぷの景観フォトギャラリーにUP、気に入った作品に拍手していただく方法で、上位作品を絞り、2次審査を経た後、運営メンバーによる最終選考で、年間トップ賞、春、夏、秋、冬賞の計5作品を選び、それぞれ賞金1万円（賞金総額5万円）を授与

しました。入賞作品は入賞作品ギャラリーに掲載し、その選考経緯と結果を公開しました。

また、2年に一度のペースで、「あるでないでええ景観！写真展」開催。応募者から、パソコン画面では、せっかくのいい景観写真が小さくてインパクトが足りないという意見をいただき、応募された作品のうち入賞作品と次点作品をA1版パネル化にして、2011年2月26～27日（土、日）に、文化の森総合公園内の徳島県立近代美術館の1Fギャラリーで写真展を開催しました。開催2日間の入場者は、199名でした。会場でのアンケートでは、「いい景観には驚きがあります。」「癒されます。」「いい景観を見るとほっとします。」等の回答をいただき、「これからも活動を継続して欲しい」とのご意見もありました。

現在、第5回「あるでないでええ景観！フォトコンテスト」を開催し作品を募集中です。

これまでにご応募いただいた作品総数は、1,092点。630(2006年)、138(2008年)、129(2009年)、126(2010年)、69(2011年)

応募いただいたみなさまにありがとうございます。とくしまっぷは、これからも徳島の景観データベースをめざして展開していきます。

引き続き、あるでないでええ景観！フォトコンテストへご応募をお願い致します。

ほっとする、そんなひとときを「とくしまっぷ」からさあ、あなたも「とくしまっぷ」で検索！



とくしまっぷ



受賞作品展示



応募全作品のスライドショー

今年のBBQ

徳島支部 中西 量宏

毎年、恒例のバーベキュー（表題が何のことか分からなかった人も多いかも…？）大会が7月30日（土曜日）に東かがわ市大池キャンプ場で行われました。

バーベキュー大会も早いもので今年で21回目となりました。このバーベキュー大会は、夏の恒例、「阿波踊り」よりも古くから開催されている徳島支部の老舗の事業です。

今年のバーベキュー大会は、天候にも恵まれ、幹事のYa 家族をはじめ Ha 家族、Ma 氏、体調不良でドタキャンした To 氏は除いて総勢〇〇人で開催されました。集合場所のフジグラン北島では忘れてならないバーベキューに必要な「肉（牛肉、鶏肉、ウインナーなど）」、「野菜（今年は幹事の奥さんのご厚意で店で下ごしらえをしてもらいました）」、大人には「アルコール（ノンアルコールが大半）」、子どもには「たら腹のお菓子」などの食材を参加者全員で調達し、各々の車に分かれ、いざ、キャンプ場に出発。

キャンプ場では、係のおじさん（おじいさん??）が大変親切で日除け用タープの設置から片付けまで、挙げ句の果てには着火剤を忘れて炭熾しに奮闘している僕たち（普段食べ慣れてない牛肉で頭がいっぱいで着火剤どころか新聞紙までを忘れていました）を見かねてバーナーで炭を熾してくれました（係のおじさんに感謝、感謝!!）。

これで下準備は全て終了!!

熾した炭の上に網を置き、今年のバーベキュー大会の始まりです。子ども達は、焼けるのが待ちきれず「おにぎり」をほおばっています。

次々と牛肉が焼け、ウインナーが焼け、鶏肉が焼け、牛肉が美味しいとの言葉を期待しつつ子供たちに

「何が一番、美味しい？」と尋ねたら



親子水入らずの共同作業

「ウインナー」「鶏肉」

との期待を裏切る言葉にガッカリ（普段、あまり食べさせていないことに反省、反省）。

バーベキューの後は、歩いて5分程度の海で海水浴を楽しみました。水が結構きれいで魚（小魚から大物まで）が泳いでいるのが見え、子ども達だけでなく大人までも楽しむことができました。



水鉄砲でバキューン



見事の中!!

今年は、海水浴付きのバーベキュー大会になりました。来年もバーベキューで大いに盛り上がりましょう。多くの参加をお待ちしております。

最後に参加した子ども達の感想を掲載します。

○海が楽しかったです。（あ～あちゃん小学3年生）

○ウインナーがおいしかったです。

また、来たいです。（Ha くん小学1年生）

バーベキューをして楽しかったです。海にも入れました。良かったです。

(Ka ちゃん小学5年生)

バーベキューに行きました。海にも行きました。楽しかったです。

(Chi くん小学3年生)

ちほるおなつ
なりました
はなつがわり
ばいさゆうほい
きましも

○ばべきゆうにいきました。

※左から1行、2行目
(ともくん幼稚園)

夏休みの自由工作、それは親の〇〇？

小松島・勝浦支部 庄野 章夫

「この杉板、余っとるけん要るか？」

県産杉だけを使って内装まで仕上げていく某工務店さんの現場に、タイル工事の残材を引き上げに行った際、こう言われた時から全てが始まった。1分後、何に使うか閃いた。以前にネットで見て、作ろうとしたけど丁度いい材料がなく、お蔵入りしていたある考えを実行するチャンスだと思った。ひとまず持ち帰って、その時の資料を引っ張り出して見てみたら、寸法的にも十分だった。今年の子供達の夏休みの自由工作は、こうして鳥の巣箱作りに決定（´▽`*）。

子供たちが休みに入って2回目の日曜日、朝のアニメ番組を観させることもなく、(株)庄野建材店のサッシ部に3人で出社。そこにある道具を活用しようという魂胆だ。まずは、マキタの仕上げサンダに紙ペーパーをセットして、表面磨き。ここまでは、と言うよりここだけは奴らは真面目に取り組んでいた。ペーパーが擦り切れるまで磨きあげて、綺麗な杉の地肌が見えてきた——(°▽°)——!!次に丸鋸でL=2000、180幅の材を150に僕が落としたところから、奴らが目覚めてしまった…。細長く切り落とした端材を手鋸で先だけ斜めに切り始め、長さも調整しながら、短く切った方の材をツバにするよう釘で打ち付けて、剣を作っていたΣ(°Д°Ⅲ)。

その間こちらは、スライド丸鋸を持ち出してきて、短辺方向のカットを、1ヵ所だけ勾配も付けながらやっていた。刃の厚みの分をどちらにもたせるのかも確認しながら、原板3枚分の加工が終了(自分の分も欲しかった)。残ったW=150、L=500位の端材にも、息子が目を付けて持っていくと、今度は楯を作り始めやがった。細長い方の残った端材を使って、奴は取っ手まで作っていた^_^；。

その頃から、6年生の姉ちゃんと、3年生の弟は、延々と戦いごっこに明け暮れていく…。

こっちは次に、直径28mmのショートビット(木工錐)で、鳥が出入りする穴を開ける作業に格闘。ビスの下穴用に用意した小型の電気ドリルでは能力不足で、中型の振動ドリルを奥の置き場から引っ張り出して来る。反動で腕を持っていかれそうになりながらも、何とか3枚分の穴開け完了。ちなみに28mmという直径は中途半端な感じがするけど、野鳥の会的に言うと、絶対的な寸法とのこと。直接その道の達人(小松島市在住)に聞いたところ、30mmにしてしまうと、全部スズメが入ってしまうらしい。シジウカラに入って欲しくば28mm厳守と

いうことで、このサイズのビットは手持ちの道具ではなく、事前に発注したのはしたけど納期がかかり、実際これがために1週間ばかり予定が延びたのでした。

次はいよいよ組み立て工程。野鳥は工業製品の臭いを極端に嫌うので、接着剤は使用不可。そのため合板も使えず、以前に作れなかったという経緯がある。今回は杉の無垢板なんで、その辺はOKだけど、接合手段はスリムビスのみ。最初ピンネイルでいこうとしたけど、思わぬ方向に曲がって、斜めに飛び出てくるので不採用。Φ2.5mmで下穴開けて、インパクトドライバーで、めり込み過ぎないようにそ〜っと締め付けていく。どの作業も、最初に取り掛かったモノが必ず不細工で、3つ目が一番マシ。慣れた頃には、その作業は終わる(-_-;)。最後にステンの蝶番を取り付けて、ひとまず完了。こうして奴らは、テキトーに戦っている間に夏休みの宿題の大きなヤマを越すことになる。やれやれと思いながら、帰宅すると妻から1つの注文が…。「姉弟で、同じモン出したらバレバレやけん差別化してほしい。」

まだ終わりじゃなかった(;Д°)！

後日、那賀川町で製材している知り合いから杉の皮を分けてもらい、貼り付けることに決定。これも実は考えが浅薄で、綺麗に見せようと思ったらそれなりの厚みのある皮で、1枚モノを使ってその面をカバーするようにしないと見栄えがしない。そうしたら、今度は天然系のデンプン糊ではなかなかくっつかないことが判明。どうしようかと考えあぐねていたら、杉板の厚みが12mmということが幸いして、脚の長さ10mmのステーブルを使う事に行き着く。杉皮を剪定鋏でカットして、やはり28mmの穴を開け(これが実は一番難しかった)、ステーブルで留め付けて、ホンマのほんまに完成v(=^0^=)v。

提出物が返却されたら、次は実際に木に結わえて定点観測し、来年の理科の自由研究に使ってやろうと今から実は計画中である(^_^)。



第1弾完成!(僕の分も含む) 最終形(左)…外装仕上げも完成

COO 式整理収納術セミナー

徳島支部 坂野 洋子

7月2日、「COO式整理収納セミナー」を行いました。講師は、アトリエ・クー杉本真理子です。13名の方に参加していただき、アットホームな雰囲気ですぐに終わることができました。その内容を少しご紹介します。

参加いただいた方は、女性の方、男性の方、年齢も幅広く、会社経営されていて内容に興味を持っていただいた方など、いろいろな方におこしいただきました。

まずは、自己紹介を兼ねてセミナーに参加しようと思ったきっかけを発表していただきました。

ほとんどの方が、片づけが苦手です。上手く整理収納ができるようになれば…という思いでした。経営者の方は、バックヤードで参考になればという事で、お越しいただきました。

では、整理をすることによって、良いことをあげてみます。

- ・時間的な効果
- ・経済的な効果
- ・精神的な効果

例えてみると、

探し物をする時間



もし100人いる会社で1日1人5分

探し物をする、

5分×100人×200日×3000円

500万円のロス

もし家で1日10分探し物をする、

なんだかすごくもったいない気がしますよね。

このような内容からはじまり、「整理する理由」をお話し、「片付けられない理由」を、考えてもらいました。

片付けられない理由をあげてみます。

- ・迷信を気にしている
- ・「しつけ」のツケ
- ・「壊れていない」という理由
- ・欠陥がないから
- ・しがらみを捨てられない
- ・小さいものほど…ピアス等
- ・捨て方がわからず途方に暮れる
- ・高価だから…

思い当たるモノありますか？これらから、捨てられない人を3タイプに分けてみます。

- 現実逃避型
- 過去執着型
- 未来不安型

どれにあてはまりますか？自分がどの型なのか考えてもらい、整理収納の考え方をお話しました。ポイントは、「時間軸は今」「モノが主役ではなく自分が主役」です。

スペースは財産と考えてもらい、少し具体例をお話し、終了となりました。時間の都合で、急ぎ急ぎでしたが、楽しいひとときを過ごすことができました。

COO式整理収納術について、少しだけになりましたが紹介させていただきました。整理と収納をセットですることが大切で、収納だけでも意味はありません。個人的には、子供の作品を、写真で残して処分していくというのが、すごくヒットでした。データとして残していくのは、色んな使い方ができますよね。みなさんも、ぜひ、試してみてください。



▲幅広い層の方の参加がありました。

女性部からのお知らせ

■建物見学会「近江八幡散策&佐川美術館見学」

【日程】平成23年10月29日(土)

6:30 沖洲マリントーミナル 出発

6:50 松茂 松茂ととくとくターミナル前のローソン前

11:00 近江八幡 到着

・ヴォーリス建築見学

・日牟礼八幡宮

・昼食

・クラブハリエ&たねや

(バームクーヘンで有名なクラブハリエで焼きたてのバームクーヘンを食べたりお土産を買ったり…)

14:00 近江八幡 出発

15:00 佐川美術館/茶室見学

16:30 佐川美術館出発~休憩2回~

20:00 到着(道路状況等により変更になる場合もあります)

●士会だよりー本部●

「建築士業務の責任と処分の解説」講習会

今日の建築業界では、一般消費者からの苦情や建築士が日常的にトラブルに遭遇することが多く、更に構造計算書偽装事件以降の法改正により違反処分の厳格化が図られ、一層の法令遵守が厳しく問われるようになってきました。このたび、実際の紛争事例を参考にそこから学ぶべき仮想の事例と法令違反の行政処分事例等を取りまとめた「建築士業務の責任と処分」をテキストに、講習会を開催することにしました。実際の紛争事例を解説するとともに、行政と弁護士からみた対処方法等を紹介する予定です。

- ・平成23年11月10日(木) 13:30～16:30/徳島士会 5F 会議室
- ・募集人員は24名で、定員になり次第締め切ります。
- ・講師：徳島県県土整備部建築開発指導課担当職員 & 弁護士会会員
- ・徳島県建築士会会員4,000円、会員外5,000円(テキスト代を含む)
- ・申込先：徳島県建築士会 TEL 088-653-7570 FAX 088-624-1710

●士会だよりー事業●

「とくしま協働の森づくり事業」関連イベントのお知らせ

徳島県建築士会が「とくしま協働の森づくり事業」のパートナーシップ協定を締結している佐那河内村内の山林で、間伐作業の見学やPR看板の設置作業、間伐材を利用した楽しい体験型ワークショップを企画しています。小さい子供さんでも楽しく参加できますのでぜひご家族でご参加下さい。※参加無料です

- 日 時：平成23年11月12日(土) 13:30～17:00
- 場 所：佐那河内村役場 駐車場 13:00 集合
- 申込締切り：平成23年10月31日
- 申込先：本部事務局 tel 088-653-7570

●士会だよりー事業●

「秋のフットサル大会」のご案内!!

スポーツの秋の季節になりました。今年度2回目の開催です。事業委員会としての、フットサル大会を企画しました。多くの方のみなさまのご参加をお待ちしています。

- 日 時：10月23日(日) 午前9時～12時 →集合時間は8:50です!
- 場 所：とくぎんトモニプラザ B1
- 費 用：大人→500円 学生→無料! (保険料込み)
- 申込締切：10月16日(日) 夕方5時まで

建築士会本部行事案内 平成23年

10月		11月	
1日	青年部幹事会 (士会会議室)	1日	一日会 (士会会議室)
3日	一日会 ()	4日	中四国ブロック職員会議 (愛媛県)
6日	委託業務審査委員会、常任理事会 ()	9日	建築相談 (士会会議室)
7日	住宅保証機構監査 ()	12日	協働の森づくり事業 (佐那河内村)
9日	一級・木造建築士試験(製図) (徳島大学)	16日	建築相談 (士会会議室)
12日	建築相談 (士会会議室)	25日	中四国ブロック会長会議 (愛媛県)
13日	違反建築パトロール (徳島市)	27日	徳島市防災訓練 (城東小学校)
〃	地域貢献活動 (士会会議室)	29日	建築士定期講習 (建設センター7F)
19日	建築相談 ()		
20日	総務委員会 ()		
23日	フットサル大会 (とくぎんトモニプラザ)		
27日	財務委員会 (士会会議室)		
〃	親睦ゴルフ大会 (Jクラシック)		
30日	親睦ソフトボール大会 (吉野川河川敷G)		

申し込み先：徳島県建築士会鳴門支部青年部長 河村まで
FAX:088-685-8483/ケイタイ:080-3168-8543

※各支部青年部の参加申し込みは、各支部青年部長さんが、支部単位で申込みをしてください。青年部以外は、直接、河村まで申し込みをお願いいたします。

※申し込みは、住所、氏名、年齢、電話番号、シューズサイズ(借りる場合)を記入してください。

※駐車場は普通自動車のみ。1時間200円(1時間以降は30分毎で100円)各自負担となります。

※フットサルシューズ(屋内用シューズ)をお持ちの方は持ってきてください。無い場合は、シューズレンタルがあります。(別途300円。各自負担となります。)運動靴は不可(屋内シューズであれば、なんでもかまいません。)フットサルシューズを貸し出し希望の方は、当日、受付でレンタルしてください。

●士会だよりーまもりすまい保険●

まもりすまい保険講習会のお知らせ

ー事故のない、安心の家づくりのために知っておくべきことー

住宅瑕疵担保責任履行法が施行され、ほとんどの住宅は住宅保険の加入を義務づけられています。保険はどのような内容か、手続きはどうすればよいか、基礎の欠陥や雨漏りを防ぐ技術基準はどうなっているか、などについて様々な疑問を持たれている方も少なくないでしょう。そうした状況をふまえ、この度、本会が本県の事務機関である「まもりすまい保険」について、下記のように講習会(無料)を開催することとしました。ごぞつてご参加下さい。

阿南市・阿南文化会館/平成23年11月22日(火) 午後1時30分～4時
つるぎ町・貞光ゆうゆう館/平成23年12月2日(金) 午後2時～4時30分
(講習会次第概要・まもりすまい保険のポイント・設計施工基準のポイント・雨漏り等事故対策のポイント・質疑と個別相談等)

本部事務局に電話又はFAXで各開催日の5日前までに申し込んで下さい。TEL.088-653-7570/FAX.088-624-1710

参加者には記念品(5.5m スチールメジャー)を贈呈します。

編集後記

- ◆またまたありがとうございました。(ぺべい)
- ◆編集会議が早く終わりました。ありがとうございました。(酎西)
- ◆.....。(.....)

ホームページアドレス：<http://toku-sikai.sakura.ne.jp/arc/>